



舞書家Chad.

Profile資料

舞書家Chad.(ダンシング筆文字職人Chad)
事務局@chadworks.

MAIL: chadoworks@yahoo.co.jp

Profile

舞書家Chad.

【舞書家Chad.】
【まいしょか ちゃど】

本名 佐渡 仁美（さど ひとみ）

1994.01.04生 広島県竹原市出身 / 身長149cm / 血液型A型

舞書パフォーマンス/マタニティペイント/書デザイン/学校・企業等講演/インスピレーション書き贈り

2014年 ある路上詩人の言葉でどん底の人生に光が差し、その衝撃がキッカケで女子大生ながら自身も筆と墨をもちストリートで活動開始。インスピレーションで言葉を書き始める。

2015年 音楽家とのコラボレーションでパフォーマンス時、衝動的に、舞い踊りながら描く独自パフォーマンス「舞書」の原型が生まれ、その後の活動の軸となる。

2016年 ホームレス生活や国内外の旅も経験しながら2校通った大学の自主退学を決断。最後の学費50万円を、ストリート1か月、筆1本だけで預かるというチャレンジを達成。フリーランス「舞書家Chad.」として活動開始。

2017年 自らの出生時に母を亡くした経験をもとに、「マタニティアートプロジェクト」始動。子ども・女性・家族への社会貢献にフォーカスするようになる。

2018年 インドネシア世界遺産ボロブドゥール遺跡にてパフォーマンス、海外活動を本格展開。

2019年 世界最大の日本展『JAPAN EXPO PARIS』出演を機にヨーロッパ3か国単独ツアーを敢行。3大和紙である土佐和紙と竹を用いて日本の伝統を発信。「平和」を主題とした演目公演。

2020年 地元である広島県竹原市の地域活性のため、全国47都道府県竹あかり一斉点燈プロジェクト『みんなの想火』広島県代表として活動。世界にオンラインを通じて「平和と希望」を発信する、官民一体の地域巻き込み型アートを主宰する。

現在、地元地域活性化と表現の場・コミュニティの創出を目的として、江戸時代の古民家をリノベーションしたゲストハウスを立ち上げ中。「魂の底から輝いて生きるお手伝い」をベースに、自身の生きる姿そのものや、平和・環境・国際交流・古き良き日本文化について次世代のあり方を発信し、活動を通して国内外多くの心に愛とよろこびを届け続ける。



Biography

▼主な公演実績

- 『ULTRA VOTE PROJECT』(2016.07.10@あべのQ'mall大阪JCI主催) *出演:藤田ニコル他
- ロックミュージカル『ONE LOVE』出演 (2017.01.25~29@池袋あうるすぽっぽ)
*共演:FUNKIST・輝馬・鷺尾昇・鎌苅健太・長谷部優 他
- 一般社団法人大阪青年会議所 社会人講師事業 社会人講師として年間活動 *2017.04~
- マチミラOSAKA2017~Creating the Future~(2017.09.02@うめきたガーデン)
*出演:かりゆし58・青山テルマ・Tee・ET-KING 他
- 宮城野部屋関西後援会春場所激励会 舞書パフォーマンス (2018.03)
- 高知大神宮 例祭 舞書パフォーマンス奉納 (2018.10.17)
- 世界遺産ボロブドゥール遺跡@インドネシア Borobudur festival 2018 (2018.11.23)
*共演:桂勘, Melati Suryodarmo
- ヨーロッパ単独ツアー(2019.07.01~08.08) 『JAPAN EXPO PARIS 2019』 出演・出展
マルセイユ単独公演/バルセロナ公演/Avignon Festival・Edinburgh Festival Fringe出演
(※クラウドファンディング・協賛等総額 83万円)
- 『みんなの想火』(「Beyond 2020」認定プロジェクト) 広島県代表 (2020.07.23)
官民一体のオンラインLIVEを主宰、クラウドファンディング達成率220%以上



▼メディア歴

【TV】

- テレビ高知『イブニング高知』(2019.05.06・2019.06) / テレビ高知『情報パレットからふる』正月パフォーマンス特番(2020.01.06)/読売テレビ・日本テレビ『遠くへ行きたい』(2020.09.06)日本テレビ『世界の果てまでイッテQ!』(2021.06.13)

【新聞・雑誌】

- ・PHP研究所発行『VOICE』巻頭グラビア「令和の撫子」特集4p掲載 (2019.10月号)
- ・TEMPO (インドネシア芸術系雑誌: Indonesian magazine) (2018.12月号)
- ・中國新聞 (2019.06・2020.07) ・ 高知新聞(2018.10.21・2019.06)

【RADIO】

- FMくしろ『河野玄太の946project』/FM高知『まひろのまラヂオ』『熱爛ドラゴンの熱爛ちんちんまけまけ』/FM11局『今井宏美のYou&I』/『サンフラザ中野くんのRunner2020』/レインボーFM『幸せde Night!』 (MC:菅生新・川上実津紀) / RCCラジオ(2020.07)

▼企業協賛

- ・カドカワ株式会社 (越前和紙提供)
- ・鹿敷製紙株式会社 (JAPAN EXPO PARIS 土佐和紙提供)
- ・有限会社 創美苑 (JAPAN EXPO PARIS 衣装提供)
- ・株式会社シムディレクト・株式会社タケナカ (JAPAN EXPO PARIS 機材協賛)

【舞書パフォーマンス】MAISHO Performance

「舞いながら、書く」Chad.独自のパフォーマンス。

ときに激しく、ときに優しく。独特な世界観に引き込む、情動的な魂の舞。

元来の「書道パフォーマンス」のイメージや枠を越え

紙や布に全身でダイナミックに鮮やかな色や書をぶつけていく様には、

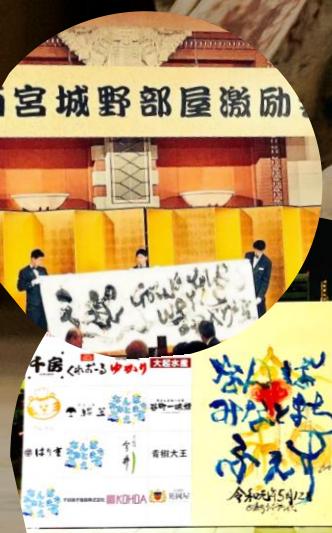
「枠にとらわれないで、在りのままの“あなた”を生きて」というメッセージが込められている。

ニーズに合わせて竹灯りやブラックライト・装飾を用いた演出や、特注屏風お仕立ても可能。

生音でミュージシャンと共に演るステージは数多く、音楽の世界観でより感動へと誘う。

【主なシーン】過去42都道府県、海外4か国にてパフォーマンス。

イベントオープニング・企業パーティ等での揮毫、学校・施設等講演、野外フェス、結婚披露宴、年末年始行事、文化・芸術・国際関連事業等での公演、CM 等



【書き贈り】

Inspiration Message Art

「あなたの瞳を5秒見て、色と言葉を贈ります」__初対面で瞳を合わせる、5秒間の静寂。

靈視でも、占いでもない、ただ「直感」を研ぎ澄ませ、
その一瞬に“おりてきた言葉”を、そのまま書き贈る。
その人に必要な言葉、心に留めている言葉、ときには亡き大切な人からの言葉。

「なんで話してないのに分かっちゃうんですか…！？」時には涙があふれだし、
人生話をしていく人も後を絶たない。真冬の野外でも2時間待ちの途切れない長蛇の列ができるほど。

「本当に」心から書いてほしいと座る人は、終わったあとの表情が本当に柔らかくなり、
特に夫婦での書き贈りは、奥様が涙されて旦那様も照れくさそうにホッと優しくなる瞬間。

ご自身はもちろん、生まれたての赤ちゃんの名前書から結婚式のウェルカムボードまで、
老若男女とわず大切な人へのプレゼントとして愛される世界に一つの贈り物。

海外では英語詩も喜ばれ、過去6年間の活動で推定延べ5000人以上に言葉を贈る。

【主なシーン】商業施設・店舗等イベント、納会・企業パーティ等への出張、各種福祉・教育施設等



【デザイン】

Calligraphy Design & illust

あなたの『創りたい』未来を、オリジナルのオーダーメイドデザインから。

コンセプトや企業イメージ、方向性などヒアリングしたうえで
既存のフォントでは実現できない「その人らしさ」「会社らしさ」を
勢いのある字からきれいな書体、筆しぶきまでバラエティー豊かに表現。

プリント可能なデータ納品から直書きの看板やギターペイント、壁画まで。
『生きた文字』であなたの大をお仕事をサポートします。

【主なシーン】名刺、看板、のれん、メニュー、Tシャツ、アーティスト写真素材、
CDジャケット、ギターペイント、イベントポスター 等

（※（株）堀越車体さまと業務提携しております。）



Gora
Restoration

【講演・ワークショップ】

Workshop

『一度きり もらった命の使い方』

「命」「進路」「はたらき方」「旅」「生き方」「自己受容」「生きづらさ」

産まれた瞬間に母親が命を落とし、母と引き換えに生まれてきた命。

大学生時代は2つの名門大学に同時に通いながら

ホームレス女子大生やヒッチハイク旅、国内外一人旅を経験し、

卒業1か月前の自主退学と同時にアーティストとしての道が始まった_____

本気で死にたいと思うほど落ちたどん底があったからこそ、

母の死や父の想いを受けて「生きよう」「命を生かそう」と思った今がある。

「同じように悩む人の力になりたい」「誰かの何かでありたい」それがすべての原動力。

ワークショップでは、全身を使って手足絵具だらけで自由に表現し、五感を開放する。

【主なシーン】教育機関（幼稚園～大学）・企業・各種団体講演、卒業制作、

社会福祉施設等ワークショップ



【マタニティアート】 Maternity Art

『一生に残る、愛のカタチ。』

命が生まれる「出産」という奇跡をもっともっと大切に。

お腹から出たあとでは一生見ることのできない、出産前のご家族の様子を

目に見えるカタチとして残すことで、

お子様、ご両親、ご家族の絆をいつでも確かめ合うことができる【絆の証】を世界に残します。

お子様が、「じぶんはちゃんと両親に愛されて産まってきたんだ」と実感できる。

ご両親が「わたし(たち)は、

この子が産まれるときこんな風に愛し合って愛を注いでいたんだ」と想い起こせる。

そのために、「ご自宅で」「普段通りの姿を」ペイントで言葉と共に残させていただきます。

仕上がりは、世界に一冊、リビングに一冊のメッセージ入りフォトブックに。

